

中学部3年 生活単元学習（進路学習）学習指導案

日 時：令和4年10月27日（木）10：35～11：50

場 所：中学部3年3組教室

生 徒：男子6名、女子1名、計7名

指導者：千葉隆之（T1）、藤井優香（T2）

1 単元名

「働くこと」を考えよう ～働くために必要な力～

2 生徒と単元

（1）生徒について

7名（男子6名、女子1名）のグループである。中学部卒業後は本校高等部進学を希望しており、総合サービス科受検を考えている生徒もいる。将来就きたい仕事についての具体的なイメージはまだ曖昧なところがあるが、全員が働きたいという希望をもっている。「自分が社長だったらどんな人を採用したいか」と尋ねると、「自分から挨拶する人」「時間を守る人」などの意見が上がった。一方で、「自分はその会社に採用されるか」と尋ねると、自分のことを客観的に捉えて「今のままでは難しい」と答える生徒が多かった。

これまでの学習の積み重ねにより、生徒の多くは自己肯定感が少しずつ高まってきている。しかし、自分の考えを整理したり発表したりすることに苦手意識をもっている生徒もいる。また、自分の苦手なことを周囲に知られたくないという気持ちから、活動に消極的になりがちな生徒もいる。

これまでの学習の様子から、2人～3人などの小さな集団での話し合い活動を取り入れることで、考えたり、発言しやすくなったりする傾向にある。また、ロールプレイなど、体験的な活動を取り入れることで、活動への意欲が高まり、他者に目を向けることができるようになってきている。

（2）単元設定理由

前単元までは、自立した生活に向けて、食事、睡眠、余暇の過ごし方について考えたり、友達と意見交換したりする学習を行った。また、前期作業学習週間と関連させて、将来の生活に向けて今必要なことについて考える学習も行った。これまでの学習を通して、将来自分が働く姿を想像して普段の生活の中で頑張ることを選択したり、自分の生活習慣を見直して朝食を食べるようになったりするなど、学習したことを日常生活に生かそうとする様子が見られるようになってきている。

本単元では、今後の高等部受検に向けて頑張ることを考えていく学習の前に、自分の得意なことや苦手なことを知り、自分の進路選択につなげていくきっかけにしておくために、これまでの生活の中で見聞きしてきた仕事を職種ごとに分類したり、それぞれの仕事に必要な力について考えたりする。その際、職業について関心をもち、将来、自分が働く姿を想像することにつながると考える。さらに、友達と意見交換をしたり、お互いに評価し合ったりする活動を通して、自己理解が深まり、進路選択に向けて「どんな行動をするべきか」「自分は何を頑張るのか」ということを意識して生活することにつながるのではないかと考え、本単元を設定した。

（3）指導について

＜協働的な学びの充実に向けて＞

- ・自分で考えたことを表にまとめたり、それを基に友達と意見交換したりする場面を設定する。
- ・それぞれのグループで調べたり話し合ったりしたことを紹介し合い、友達の考えを認めたり、自分の考えを深めたりする機会を設定する。

＜仕事についての具体的なイメージを共有できるように＞

- ・写真や映像の提示を効果的に行い、仕事についてのイメージを全体で確認する機会を設定する。
- ・これまでの生活の中で見聞きしてきた仕事について、職種ごとにまとめたマップや、働くために必要な項目を記載した「中3版 職業準備性ピラミッド」を活用する。

＜自己理解を高めるために＞

- ・職種ごとに求められる力についての自己評価をしたり、他者評価を組み合わせて、自分が興味のある仕事について考える機会を設定する。

3 単元目標 知: 知識及び技能 思: 思考力・判断力・表現力等 学: 学びに向かう力・人間性等

- (1) 仕事は職種ごとに分類できること、それぞれの仕事に必要な力があることを知る。知
 (2) グループの友達と意見交換しながら、一緒に仕事を職種ごとに分類したり、必要な力について考えたりする。思
 (3) 仕事について必要な力が分かり、自分の生活と結び付けようとする。学

4 単元計画 (総時間数 18 時間 / 本時 11・12 時)

時	学習内容	学習活動	育成を目指す資質・能力 (関 関 関)
2	<ul style="list-style-type: none"> 様々な仕事があることへの理解 職 C ア、イ 社 エ (ア) 国 A 聞くこと・話すこと イ、ウ 	秋田空港ではどんな人たちが働いていたかを確認する ・空港ではどんな仕事をしている人たちが働いており、その仕事にはどんな人が向いているのかを考えたり、写真や映像を見て知ったりする。	<ul style="list-style-type: none"> 空港で働いている人の職名や仕事内容を知る。知 様々な仕事への興味や求められる資質について知りたいという気持ちをもつ。学
2	<ul style="list-style-type: none"> 様々な仕事があることへの理解 職 C ア、イ 社 エ (ア) 国 A 聞くこと・話すこと イ、ウ 	修学旅行先ではどんな人たちが働いていたかを確認する ・修学旅行先ではどんな仕事をしている人たちが働いており、その仕事にはどんな人が向いているのかを考えたり、写真や映像を見て知ったりする。	<ul style="list-style-type: none"> 修学旅行の見学先で働いている人の職名や仕事内容を知る。知 様々な仕事への興味や求められる資質について知りたいという気持ちをもつ。学
2	<ul style="list-style-type: none"> 職種で仕事の仲間分け 職 C ア、イ 社 エ (ア) 国 A 聞くこと・話すこと イ、ウ 	今まで見てきた仕事を仲間分けする ・知った仕事を「人と関わる仕事」「つくる仕事」「その他の仕事」に分け、まとめる。	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを友達に話したり、友達の考えを聞いたりしながら、グループで職種ごとに仕事を仲間分けし、表にまとめる。思
10 (5・6 / 10 時)	<ul style="list-style-type: none"> 「つくる仕事」「人と関わる仕事」「その他の仕事」に必要な力の理解 職 C ア、イ 社 エ (ア) 国 A 聞くこと・話すこと イ、ウ B 書くこと ア 	様々な仕事に必要な力について考える。 ・仲間分けした仕事について、それぞれどんな力が必要なのかを考えたり、まとめる。 ・実際に働いている人たちからの意見を聞き、働くために必要な力について知る。	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを友達に話したり、友達の考えを聞いたりしながら、グループで職種ごとに必要な力について考えたり、まとめる。知・思 それぞれの仕事に必要な力や、働くために共通している力を見つけようという気持ちをもつ。学

2	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項を基にした自分の考えの文章化と発表の仕方 職Cア、イ 社エ（ア）（イ） 国A聞くこと・話すこと イ、ウ B書くこと ア 	<p>自分の得意なことを生かして、自分にできる仕事を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの学習を振り返り、学習してきた仕事の中から自分に向いている職種の仕事を発表する。 今後の生活の中で、働く力を付けるために頑張ることを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分に向いている職種や仕事内容について知りたいという気持ちをもつ。学 学習した様々な仕事をイメージし、今後の自分の生活と結び付けながら感想を書いたり、発表したりする。思
---	---	--	---

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 普段の生活の中で見聞きする仕事が職種ごとに分類され、それぞれ求められる力があることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> グループの友達に自分の考えや気付いたことを言葉で伝えている。 友達の考えを聞きながら、グループとしての考えを資料にまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な仕事に興味をもち、自分や友達はどんな仕事に向いているのかを考えようとしている。

6 本時の計画（18時中の11・12時）

（1）本時のねらい

- ①人と関わる仕事に必要な力について考え、付箋に記入する。
- ②グループ内の話し合いで、自分が考えたことや気付いたことを2つ以上発表する。

（2）生徒のねらいと手立て（太枠は対象生徒）

No	氏名・性別	実 態	個別のねらい	手立て
1	A (男)	<ul style="list-style-type: none"> 仕事に関する学習には興味をもっている。 自分の間違いや失敗を受け入れるのが苦手である。内容が分からなくなると、うつむくことがある。 伝え方が分かると、自分の考えを友達や教師に伝えようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 仕事マップや中3版職業準備性ピラミッドを参考にして、必要な力を2つ以上考えて、付箋に書く。 友達の話し方を参考にしながら、自分の考えを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> なかなか書き出せないときには、修学旅行で見付けた「人と関わる仕事」に着目するように伝える。 自信をもって伝えられるように、なぜそう思ったのかを発問したり、話し方を個別に確認したりする。
2	B (男)	<ul style="list-style-type: none"> 将来は働きたいと思っているため、どんな仕事があるか興味をもっている。 自分の思い込みで行動することが多い。 学習態度など、その場にふさわしくない態度をとることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 中3版職業準備性ピラミッドを参考にして、仕事に必要な力を2つ以上予想して書く。 グループの友達に自分の書いた付箋の内容を話す。 	<ul style="list-style-type: none"> 考える内容や書くことが分かるように、項目を書いた付箋を準備したり、書き方の見本を提示したりする。 グループの友達に自分の考えを話せるように、どこを発表するかを伝えたり、伝えたい内容について補足して説明したりする。
3	C (男)	<ul style="list-style-type: none"> 様々な仕事があることが何となく分かり、パソコンやゲーム関係の仕事に興味をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 仕事マップや中3版職業準備性ピラミッドを参考にして、必要な力を2つ以上考えて、付箋に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 自信をもって書けるように、事前に付箋に記入する項目を書いておく。 自分の考えを整理でき

		<ul style="list-style-type: none"> ・考えることや伝えることに苦手意識があるが、ポイントを絞って発問すると、自分の言葉で話す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループの友達に、自分の考えを理由を添えて伝えたり、理由を聞かれた際に考えて答えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・るように、予想したことや気付いたことを称賛し、なぜそう思ったのかという理由を尋ねる。
4	D (男)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の周りには様々な仕事があることが分かり、将来は事務の仕事がしたいと思っている。 ・自分から考えを話すことは少ないが、教師が発問すると、自分の考えを話す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事マップや中3版職業準備性ピラミッドを参考にして、必要な力を3つ以上予考えて、付箋に書く。 ・グループ全員の考えを聞いて、発表したい内容を決める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予想したことを整理し、話し合いに生かせるように、なぜそう思ったのか発問する。 ・教師が話し合いで出た意見を整理して伝え、発表する内容を選択する場面を設定する。
5	E (女)	<ul style="list-style-type: none"> ・将来は清掃や介護の仕事がしたいと思っている。最近では、接客の仕事にも興味をもっている。 ・自分で考えたことを整理して、友達に伝えようとするが増えてきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事マップや中3版職業準備性ピラミッドを参考にして、必要な力を3つ以上考えて、付箋に書く。 ・友達の考えを聞いて、振り返りで分かったことをシートに書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・考えを深められるように、自分の身近にある「人と関わる仕事」に着目するように伝える。 ・話し合いで話題になったことを理解しているか、適宜個別に確認する。
6	F (男)	<ul style="list-style-type: none"> ・将来は、働きたいと思っている。具体的な仕事名を答えるが、なりたい仕事はテレビや漫画の影響ですぐに変わる。 ・活動への見通しがもてると活動を進められるが、理解するまでに時間を要し、一つ一つの行動を教師に確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人と関わる仕事を2つ挙げ、その仕事に必要な力を中3版職業準備性ピラミッドから選んで付箋に記入する。 ・話し合いでは、同じキーワードや似ている言葉の付箋を友達と話し合いながらまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・考える内容や書くことが分かるように、書く項目を書いた付箋を準備したり、書き方の見本を提示したりする。 ・付箋をまとめられるように「自分の同じ意見の付箋はある？」などと考えを促す言葉掛けをする。
7	G (男)	<ul style="list-style-type: none"> ・将来は一般就労したいと考えており、身の回りの働いている人の様子を観察したり、学習を通して知ろうとしたりしている。 ・自分のペースで活動を進めることもあるが、周りの友達に話しを聞きながら進められるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人と関わる仕事を3つ以上挙げ、必要な力を付箋に書く。 ・話し合いの際には、友達の意見を聞きながら話し合いを進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・付箋の書き方が分かるように教師が書いた見本を提示する。 ・友達の意見を聞きながら進行ができるように、意見を話す順番を決めてから話すように伝える。

(3) 学習過程

時間 (分)	学習活動		教師の働き掛け、指導上の留意点
			囲み部分 はねらいに対する手立て
15	導入	1 アイスブレイクを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・緊張感を和らげ、本時の学習に意欲がもてるように、動画を見ながら自由に発言したり、感想を聞いたりする場面を設定する。 ・本時の学習にイメージをもつことができるように、教師が「人と関わる仕事」を演じている動画を提示する。

		<p>2 本時の学習を知る。</p> <p>めあて:「人と関わる仕事」には、どんな力が必要か考えよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習に見通しをもって取り組めるように、前時の学習を振り返り、本時の学習の流れや目標を伝える。
10	展開	<p>3 人と関わる仕事に必要な力について考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・考えたことを覚えておけるように、付箋に書き出すよう説明する。 ・これまで学習したことを思い出したり、活用したりできるように、資料を提示しておく。また、予想する際にこれまで学習してきたプリントを手掛かりにするような言葉掛けをする。 ・自分が考えたことや理由を付箋に書けるように、そう思った理由を尋ねたり、生徒が答えたことやつぶやきを取り上げて称賛し、そのことを書くように伝えたりする。 ・考えるのが難しい生徒がいた場合には、「修学旅行で訪れた売店の仕事にはどんな力が必要だと思う？」などの発問をして気付きを促したり、「中3版職業準備性ピラミッド」から当てはまる項目を選択して付箋に書くように伝えたりする。 ・T2は山・雅に対して、個別に学習活動の理解の確認や必要に応じて具体的な説明を行う。
30		<p>4 グループで話し合い、グループとしての考えをまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・T1は、A、C、D、Eのグループ、T2は、B、F、Gのグループを中心に見届ける。 ・グループでの話し合いがスムーズに進むように、「考えたことを2つ以上発表する」など、話し合いのルールを提示する。 ・話し合いの途中で自分の考えを整理できるように、友達の意見を聞いて考えたことや、感じたことを適宜確認したり、付箋に書くように促したりする。 ・生徒同士のやりとりの状況に応じて、肯定的な言葉を掛けて称賛したり、教師が進行を補助したりする。また、理由を尋ねて考えを深めたり、グループ全員が考えを共有できているかを確認したりする。 ・グループとしての考えをまとめて発表できるように、ワークシートや短冊を配付する。また、話し合いで出た意見の中から同じ言葉や似ている言葉を見つけて印をつける活動を取り入れる。
10	まとめ	<p>5 互いのグループの発表を見合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・互いのグループの考えを比較したり、全員で共有したりできるように、グループごとにまとめたワークシートや短冊を提示する。その際、同じ意見や異なる意見に気付けるような言葉掛けをする。
10		<p>6 振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとにまとめた意見と「中3版職業準備性ピラミッド」の図を照らし合わせ、今日のめあてや学習を振り返る。 ・今後の生活につなげることができるように、感じたことや自分の生活で優先したいことなどを書く時間を設ける。

(4) 評価

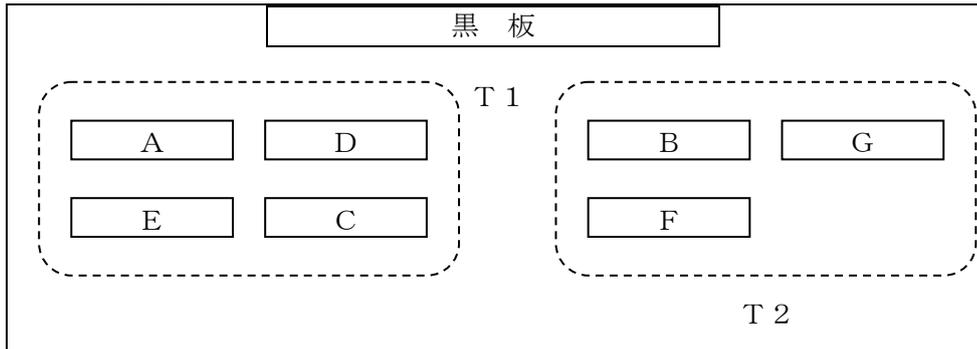
<生徒の評価>

- ・人と関わる仕事をするために必要な力を考えて、付箋に書き出したり、「中3版職業準備性ピラミッド」の中から当てはまる項目を選択したりしていたか。
- ・友達と自分が考えた必要な力やその理由について伝え合い、グループ内で共有したキーワードを短冊に書いていたか。

<教師の手立ての評価>

- ・人と関わる仕事に必要な力を想起できるような教材の準備や提示、気付きを促す言葉掛けは適切であったか。
- ・話し合いを進めやすい状況づくりや、自分の考えを表現できるような発問や言葉掛けは適切であったか。

(5) 配置図



- ・ T 2 は、主に F の側に配置し、適宜学習の理解を確認する。
- ・ 学習活動 4 では、のグループに分かれる。